

# 「熟議」について

## 熟議民主主義

理性的な熟慮と討議を通じて合意を形成し、集合的な問題解決を行おうとする民主主義の考え方

(出典: 田村哲樹『熟議の理由 民主主義の政治理論』勁草書房)

### 【熟議民主主義のプロセス】

関係者が集まる

(保護者、教員、地域住民等が一堂に集まる)

課題について学習を行う + 課題について討議を行う

(地域の教育問題について学習するとともに、参加者間で討議を行う)

課題への理解・互いの立場への理解が深まる

(問題への理解、各参加者のできること・できないことなどへの理解が深まる)

自ずから解決策が提案・洗練される

(学習・討議の過程で解決策が提案され、各参加者の知見により洗練されたものになる)

各自が自分の役割を理解・納得する

(参加者間で解決策の趣旨を共有しているため、各自が各々の役割を理解・納得する)

各自が自律的に問題の解決に向けて行動する

(各自が、問題の解決に向けて、各々の役割を果たす)

